

議員と語るかい報告書

(溝辺：No.1)

開催日時	平成26年5月9日(金) 19:00~20:30
開催場所	溝辺総合支所
参加人数	18人
出席議員 (6名)	松元 深、前島 広紀、時任 英寛、岡村 一二三、池田 綱雄、 徳田 修和
役割分担 【2班】	班 長 (松元 深) 副班長 (前島 広紀) 記録係 (徳田 修和)

<意見交換会での主な意見>

- ◆ 1. 財源不足の中で報酬が上がった。また木質バイオへ補助金も決まった。土地開発公社への債務負担も何十億円と充てられている。これらは議決案件であるが、債務負担行為についてどう考えているか。また、議員の職責についてどう考えているか。

【議員回答】申されたとおり議決案件であり、支出の根拠を作るもので、5年間に亘る木質バイオの補助金は、単年度ごとに予算計上し、予算委員会において審査していく。開発公社については、債務負担行為ではなく損失補てんであり、現在において損失は発生していないとご理解いただきたい。

議員の職責については、住民の福祉向上を目指すもの。合併して8年が経ち、霧島市全体の発展を目指して活動していかなければならない。

- ◆ 2. 職員の給与を減らして議員の報酬を上げたことについてどう考えているのか。5万円増やした分の仕事がどう変わったのか。一人ずつ考えを聞かせてほしい。

【議員回答】各議員の考えをお答えした。

- ◆ 3. 40年後には自治体が消滅すると新聞等で報じられているが、報酬分の働きをしているのか。報酬を多いと考えるか少ないと考えるか一人ずつ答えてほしい。

【議員回答】各議員の考えをお答えした。

- ◆ 4. 始良市や鹿屋市に比べて、霧島市の26人定数は少ないのでは。住民の意思が反映しづらくなったのではないか。

【議員回答】4つあった委員会が3つになり審査対象が増えているので、てきぱきとした委員会運営をしなければならない。各地域から議員が出にくくなるため、これ以上減らすことは考えにくい。

(溝辺：No.2)

◆ 5. 県の体育館の誘致を市議会としてどう考えているか。

隼人国分方面はスーパーがたくさんあるが、溝辺はAコープとコンビニしかなく、高齢者は買物難民となっている。霧島市はどういった対策を考えているのか。

【議員回答】スーパーアリーナの誘致は、県知事に対し本市の議員が交渉に行った経緯がある。各関係団体が署名運動を行うことが決まったので動き始めると思う。

国分隼人地域は大型店舗で賑わっているようだが、地元の事業者は、他の地域同様に厳しい状況に変わりはない。

買物難民については大きな課題である。これは地域の活性化をどうしていくかということから始めなければならない。

交通に関しては高齢者をはじめ交通弱者のために、ふれあいバスを運行している。溝辺地区においてはデマンド交通システムも試行している。本市としてもご不便のないようにと考えている。

地域の活性化はこうすればいいというものはなく、地域の歴史など踏まえて、どういったものが活性化につながるか、地元の皆様でご協議いただくことが大事である。

買物難民だけでなく、医療・看護難民といったものも出てくる可能性がある。地域でどう支えていくか、行政がどう役割を担えるかは、今後の課題である。

◆ 6. 26年度の主な事業に溝辺のことが出てこないが。

【議員回答】新香地区の道路に係る予算5000万円がついているほか、継続している事業は今までどおり予算を組んでいる。議会だよりにある事業は、あくまでも主だったものである。

◆ 7. 小学校英語教育推進事業は、全小学校で実施されるのか。

【議員回答】全体を想定している。

◆ 8. 力強い木材産業づくり事業の予算は、今度できる会社への助成だと思うが、国からの助成のほか霧島市からも助成がでるのか。

【議員回答】国からの助成金。市の会計を通すだけで市が出しているわけではない。

◆ 9. 議会だよりを通して議会の活動はわかるが、議員の方々の普段の活動が分かりにくい。自治会等の中にも積極的に参加して、活動報告等、住民の要望を聞く場をもってもらいたい。各総合支所の周辺の衰退が目立つ。原因の1つは国分への業務の集約化ではないか。これから集約が進めば、身近に農地や道路の相談をする場が無くなってしまっているのではないか。増設が決まっている国分庁舎についても、使っていない公共の施設等がたくさんあり、それをどう活用するかが先ではないか。

(溝辺：No.3)

【議員回答】⇒ 自治会にも積極的に参加していきたい。

自治会の総会や長寿会に参加している。呼んでいただければどこへでも伺う。総合支所周辺部の疲弊や空き家対策については、重要な問題であると認識している。様々な提案をしているが、解決策には至っていない。これからも皆様のご意見を参考に議論していきたい。庁舎だけではなく一般の空き家も増えてきている。これらは、行政だけではなく、皆様もどう活用すればいいのか話し合ってほしい。

◆10. 地域の声と議員の言われることが違う。議員が住民の代表なら真摯に受け止めるべきではないか。合併の説明では、サービスは高いほうへ負担は低いほうへというのがキャッチフレーズだったはずだが現実全くの逆である。

市民は消費税が上がって生活が苦しい、税金が払えない。霧島市は自殺者も多い。そういうことを真剣に考えて、国分だけが良ければいいといった考えではなくて、市政に反映させてほしい。

【議員回答】頂いたご意見を真摯に受け止め、さらなる活動を続けていきます。